



いがらしみきお氏講演会



秋桜が咲きほこる 10 月 15 日に漫画家いがらしみきお先生の講演会が開催されました。

先生を囲むように設営された会場には、哲学的名言がちりばめられた漫画「ぼのぼの」に魅了された方も多く、何人かの手には、なんとも微笑ましいぬいぐるみ「ぼのぼの」の姿も。



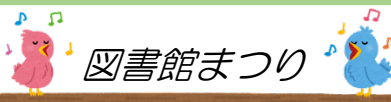
先生の生家は、理容店でお客様用の数種類の雑誌がおいてあり、その中には漫画本もありました。幼い頃から漫画に親しんでいたそうです。早くから絵の才能があったのでしょうか。似顔絵を描けば周りから褒められたそうです。中学時代に「柔道一直線」の原作者永島慎二先生の原画に出会います。プロの原画の美しさに感動し、漫画家になりたいと思ったそうです。その後、高校進学、家出、高校中退、バンド活動、職業訓練校入校、就労等様々な経験をし、24 歳で漫画家としてデビューします。20 代後半 2 年間のブランク後、不動の地位を築いた「ぼのぼの」が誕生します。



先生の作品には、「ぼのぼの」とは同一作者だと思えないような過激な前衛的な作品もあります。どの作品にも根底に流れている先生の哲学、「自分とは」「人間とは」「人生とは」と問いかける姿勢が伝わりました。また先生は、読書にも精通されていて、折々に触れた文学者や哲学者を沢山紹介されました。人間の最後の楽しみで残るのは、「読書」と「食欲」。「読書」は、1 日を生きる力になる。名言ですね。

これまでと違った趣向と先生の話し方も相まって、とても温かな講演会になりました。いがらし先生ありがとうございました。

1955 年中新田町に生まれる。24 歳で漫画家デビュー。代表作に「あんたが悪いっ」(1983 年漫画家協会賞優秀賞)、「ぼのぼの」(1988 年講談社漫画賞)、「I(アイ)」、「羊の木」(2015 年文化庁メディア芸術祭漫画部門優秀賞)他多数受賞。仙台市在住。



図書館まつり

12 月 3 日(土)に図書館まつりが開催されました。通常通りに行われたブックリサイクルは、変わらぬ人気で多くの方で賑わいました。お気に入りの本に出会えたら最高ですね。今回はじめて公民館の一室を「なととのへや」に割当て、「図書館の本で楽しもう！」で好評だった和綴じの本作りのワークショップや「なとと」の歩みや活動の紹介などを行いました。また「ビブリオバトル」に代わる「あなたの推し本、教えて！」では、フランクに本が紹介され、紹介する側とされる側が、共感できる楽しい場となりました。他にもおはなし会、工作、販売等々。

準備段階から多くの方が図書館まつりに向けて関わり、ご協力していただきました。ありがとうございました。



12 月 8 日 来館者

100 万人



第 4 回 (11/8) 図書館の本で楽しもう！

～消しゴムはんこで年賀状～

年賀状発売日から一週間のこの日、来年の干支「卯」の判を作る企画に 9 名の参加者が集いました。今回の講師、名取市図書館の高橋麻喜子さんの指導の下、早速梅の花と竹の図案を転写。そして彫りへと進めて試し押し。手順を理解し慣れたところで、いよいよウサギの彫りに入ります。慎重にカッターを動かし、やがて一匹のみならず二匹目へと彫り進める参加者もいて、ドキドキの試し押しに一喜一憂の顔、顔。仕上げのハガキに押し終え、皆さん歓声と拍手の内にお開きとなりました。

今回の図書館の本



津久井智子：著
大和書房：出版

次回第 5 回 図書館の本で楽しもう！

～ちりめんで作る香袋～

日時 1 月 17 日(火)

13:30～15:30

会場 増田公民館 研修室

定員 10 名

参加費 300 円

申込み受付は 1 月 4 日から
図書館へ

♪わたしからあなたへ♪

本のバトン no.10 「Love だねえ」

武田 洋

第二の職場にいた5年間、今まで閉じてきた扉を開け放つ如く小説を読みまくった。乱読で、ジャンルも様々。その中で出会ったのが小路幸也の「東京バンドワゴン」だ。中心となる人々は、古書店を営む四世代が同居する家族で、それぞれの過去の出来事も丁寧に拾いながら、その中で起きた事件などを解決していく。人と人の関わり方やつながりがとても魅力的だ。場面が頭に浮かんでくる。

恩田陸の「蜜蜂と遠雷」を読んだ時に、演奏される曲が聞こえるようだったり、砥上裕将の「線は僕を描く」で描かれた水墨画の色まで見えるようだったり、文章の力ってすごい！そして、これまで読んだどの物語にも、相手や目指すことに対する強い思い、「東京バンドワゴン」に出てくる我南人の「Love だねえ」が根っこにある強い意志がある。俺のあこがれ。



「東京バンドワゴン」
小路 幸也：著
集英社：出版

★★9月～11月のナイトライブラリー★★

★9/30「笑って学ぶ 私はだまされない？～かしこい消費者になるために～」

一向に止む気配のない様々な特殊詐欺について、さらに学ぶ機会としての今回のナイトライブラリー。名取市消費生活相談センターより村上喜久さん、そして名取の方言を語り残そう会の皆さんをお迎えしました。

巧みな騙しからの対策や注意点等、例を上げての説明の後、名取弁での愉快な朗読劇『狐にバカされたおすんつあん』や『はっきりきっぱり唄』で笑いの中閉会しました。

—今だけ！ここだけ！あなただけ！は嘘—



★10/28「落語会～としょかん寄席～」

昨年に続いて、今回は2回目の落語会。演者は^{こつかせいしゅう}剋家清生さん。演目は、『子ほめ』と『茶の湯』。

『茶の湯』は、隠居した旦那さんと小僧さんが、何か風流なことをと茶の湯を始めますが、二人とも全く茶の湯の知識がありません。それでも知ったか振りをして客人を招きお茶を点て続けます。招かれた客人もお茶の流儀作法を知らない人ばかりという設定でお話が進み、滑稽さに笑いが！

落語特有の何役も演じるその表情や仕草からすっかりその世界に入り、想像する面白さを身近に楽しみました。今から次回が楽しみです。



★11/25「がんについて あなたに知ってほしいこと」



宮城県立がんセンター副院長である佐々木治先生のお人柄と相まって、とても染み入る話でした。複数の遺伝子DNAに傷がついて異常なたんぱく質が作られることによりその細胞が異常な増殖をするのが、がん。がん医療について、できるだけ患者のダメージを低くしようと取り組まれていることがよく分かりました。

さらに、治療中や治療後の生活が大切だという観点から、患者目線に立ってサポート体制の充実を図ってこられたことがすごい！（診断時からの緩和ケア、がんサロン開設、ハローワーク仙台での出張相談、がん相談支援センターの活用等）。多職種によるチーム医療に努められていて、「みんなで力を合わせればきっと大丈夫」という言葉が心に響きます。参加された方は得でしたね。

★これからのナイトライブラリー★

★12/23「オカリナで奏でる クリスマスコンサート」

ゲスト オカリナ&ピアノ 桜音
オカリナ 葛西 淳子氏
ピアノ 渋谷 風見子氏

★1/27「独楽を楽しむ」

ゲスト 安藤 正樹氏(尚絅学院大学教授)

★2/24「民話」

ゲスト 名取昔話語りの会

日 時 毎月最終金曜日 19:30～20:30
会 場 カフェコーナー
定 員 40名
参加費 会員無料 非会員 300円
申込み 図書館へ

ごあんない

おはなしボランティア研修会 「紙芝居の基礎」

講 師 伊藤 俊子 氏
(紙芝居文化の会みやぎ)

日 時 2月3日(金) 10:00～12:00
会 場 増田公民館 講義室

3月14日に予定している第6回「図書館の本で楽しもう！」は、現在内容を企画検討しております。追って、図書館ホームページ、Facebook、掲示板等でお知らせします。お楽しみに。

「なとと」Facebook
QRコード



でんごんばん ♪ウクライナ侵攻もコロナもなかなか収束がみられないまま今年も終えようとしています。閉塞感は否めませんが、一人一人が大切なことをしっかり胸に刻み暮らすことを求められているように思います。今年は少しずつですが、「なとと」の活動に関わって下さる方が増えました。嬉しいですね。

2023 年が幸せな年になりますように。